

令和7年7月号（6/25～7/31）イベント情報

6月30日 （月）	夏越の大 祓（おお はらい）	宇佐神宮	「夏越の大祓」の起源は遠く神代にまで遡り、現在では毎年六月晦日と十二月大晦日に、宮中をはじめ伊勢の神宮・全国の神社で行われています。 また古式に則り「茅の輪」が参道に設けられます。 「水無月の 夏越しの祓へする人は 千歳の命 延ぶと言ふなり」 拾遺和歌集（しゅういわかしゅう）に詠まれるこの和歌を歌いながら茅の輪をくぐると、無病息災で残る半年を過ごすことができるといわれています。 茅の輪は6月13日（金）より6月30日（月）にかけて参道に設置されていますので、ご自由にお通りください。 《日 時》 6月30日（月）午後4時斎行（午後3時45分までに参集） 《場 所》 宇佐神宮 御輿掛 祓所（雨天の場合は絵馬殿になります） ※大祓に参加するには、初穂料が必要です。詳しくは宇佐神宮にお問い合わせください。	宇佐神宮 TEL09 78- 37- 0001
6月20日 （金）～ 7月7日 （月）	宇佐空の 郷 七夕 飾り	宇佐空の 郷	宇佐空の郷にて、宇佐の歴史、戦争についての学びの場とすることや、後世に伝えることを目的に、七夕の笹を設置し、来館者による短冊への記入や飾りつけを行います。6月20日（金）13：30から、普照こども園児による合唱を披露します。 【展示（装飾）期間】6月20日（金）13：30～7月7日（日） ※荒天中止	宇佐市 教育委 員会 社会教 育課 TEL09 78- 27- 8200
7月10日 （木）	宇佐神宮 巫女体験	宇佐神宮・儀式 殿 宇佐市南 宇佐 2859	宇佐神宮御鎮座1300年を記念して、宇佐神宮巫女体験を実施します。 巫女とは、白衣に緋袴姿、神事で舞や歌を神様に奉納する女性です。宇佐神宮の巫女体験では、巫女装束で清めの後、所作指導を受け、神楽舞の体験を行い、本殿での正式参拝や神楽奉納に参列できます。 【時間】12：30～16：00 【参加費】19,800円（税込）記念品（神楽鈴のお守り）付 【最小催行人員】5名（最大15名） ※未婚の女性限定 ※身長150cm以上 ※宗教上の理由で参加できない場合があります。詳しくはお問い合わせください。	宇佐神宮御鎮座 1300 年奉 祝・ 勅祭記 念事業 実行委 員会 Tel 0978- 33- 3433

7月中旬 ～10月 頃	ぶどう狩り	市内各ぶ どう園	宇佐市では、安心院地域を中心とするぶどう園や組合においてぶどう狩りを楽しめます。各園や組合によって栽培品種は異なりますが、皮ごと食べられるシャインマスカットや 糖度が高く種がないのが特徴のピオーネ、そのほかにも大粒の巨峰など、ぶどう農家が丹精込めて育てた新鮮なぶどうを味わうことができます。夏から秋のこの時季にしか楽しむことのできない「ぶどう狩り」。ご家族やご友人と出かけてみてはいかがでしょうか。 狩りとしたぶどうの価格は時価での買取りとなります。 【時】8：00頃～17：00頃 ※いずれも各園により異なります。 詳しくは各農園にお問合せください。	(一社) 宇佐市観光協会 安心院部会 TEL09 78-34-4839
7月31日 (木)～ 8月2日 (土)	御神幸祭 (夏越祭り)	宇佐神宮	宇佐神宮の恒例祭典で最も壮麗である御神幸祭(夏越祭り)は、古くは「御祓会(おはらいえ)」と称し、夏越神事として平安時代には既に斎行の記録が見られます。 三柱の御祭神(八幡大神・比売大神・神功皇后)がそれぞれの神輿にて、上宮本殿から境内の頓宮に渡御されます。頓宮で三日二夜を過ごされた後、再び上宮御本殿へと御還幸されます。神幸行列は、猿田彦神が道案内として先頭に立ち、鮮やかな色彩の装束をまとった「蝶」「鳥」「駒(馬)」の稚児が列を成します。続いて裃(かみしも)や直垂(ひたたれ)を着けた列奉行、太鼓・横笛・鉦を賑やかに奏でる道行囃子、三基の神輿、輿に乗った宮司と神職が従います。 中日となる8月1日は、境内の大尾山参道にて小笠原流弓馬術礼法による「流鏑馬神事」が執り行われ、2日の夜には厄除花火大会が催されるなど、境域は終日近郷遠来の参拝者で賑わいます。	宇佐神宮(神事・花火) TEL09 78-37-0001